

これが今の日本は、少子・高齢化社会を向え、より一層の高齢者を配慮した町づくりが大切だ。そこで私があげるアイデアは、高齢者に配慮し、かつこの世代も楽しくなるような歩道を考えました。

まず、歩道にある木です。「景観がよい」「うるずみ」からやだし「環境にやさしい」と様々な意見があり、特に、木の根っこによるアスファルトの凸凹での高齢者の事故の増加で、存続が危ぶまれています。しかし、緑は必要です。そこで、木の代わりに広く丈夫の花を植えます。

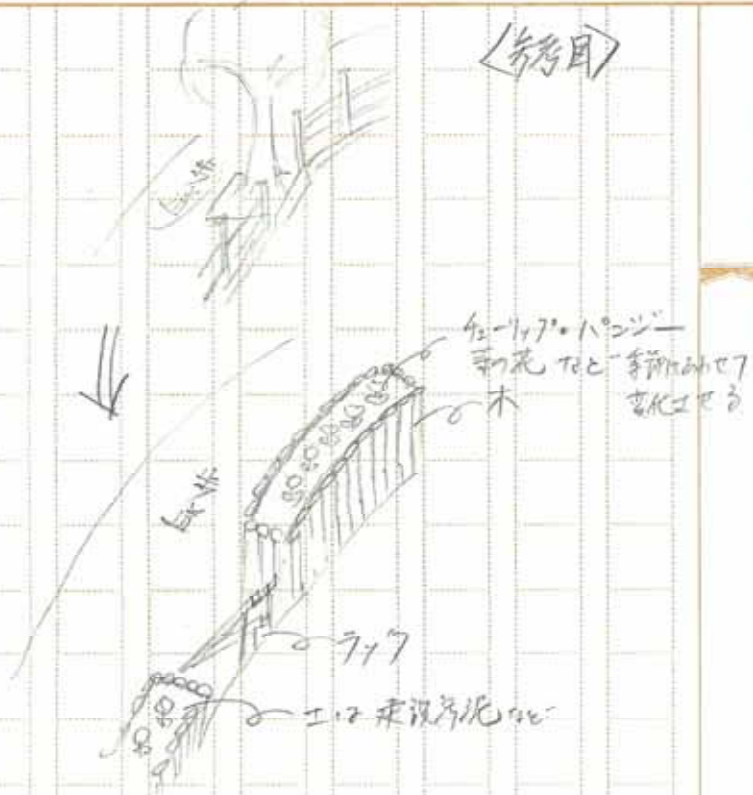
次に、歩道の幅です。木や花壇等による幅の減少。そこで、道路と歩道を区別するボックスや鉄の柵の代わりに花壇を置きます。花壇と思ってもらいたいが、普通の花壇ではありません。幅をできるだけ薄くし、花壇を木（木目ちゅうのりサイクルボックス、廃材）でまわす本物の木で作ります。土は、特殊な機械で変換された、建設汚泥を使用します。

(コストが安い方を利用)

(歩道の土を再使した土)

最後に、歩道上の最大の障害物、放置自転車に  
 ついては、私は、都市を歩いておける  
 ためのすがた、どけが捨てられたい、どけが  
 違法駐輪してあるのか区別がつきませんでし  
 た。そこで、等間隔に斜めワイヤネットを設置し  
 てはどうかと思ひました。幅は少しとります  
 が、見た目や管利されていくかじうかの区別  
 が下ります。

この3つをまためた参考図を左側に示しま  
 す。



参考図